



## 富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月9日

企業・団体名 合同会社BizMaIS

代表者名 塩口 泰地

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和6年1月23日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】全社員が最新のテクノロジーを活用できるスキルを習得</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>週に1回、最新の生成AI技術(ChatGPT, Claude等)やノーコードツールの社内勉強会を実施し、全社員のスキル底上げを図った。</li><li>全社員が業務においてAIツールを日常的に活用し、資料作成やデータ分析の効率化を実現。自社での実践知をクライアントへの提案に活かしている。</li></ul>
2	<p>【目標】地域内でのAI導入率を50%向上させる</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>自社パッケージ「AIRაკაკDX」を展開し、地元の小規模事業者が抱えるアナログな業務フローをAIによって自動化・効率化した。</li><li>具体的には、書類作成やデータ集計などのルーチンワークをAIに代替させることで、現場の生産性を大幅に向上。コストを抑えた導入スキームにより、資金力の限られた小規模事業者でも着実なDXを実現できるよう支援した。</li><li>ITスキルの有無に関わらず「誰でも使いこなせるAI活用」を推進し、県内企業のデジタルトランスフォーメーションを加速させることで、地域全体の競争力強化に貢献した。</li></ul>
3	<p>【目標】地域社会における持続可能な開発目標の認知度を高める</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>クライアントに対し、AI導入による業務効率化が「ペーパーレス化による資源保護」や「残業削減による働き方改革」に直結することを具体的に提示し、ビジネスを通じたSDGsの重要性を啓発した。</li><li>自社で実践している「AIによるペーパーレス化」や「リモートワークによる移動コスト削減」のノウハウを、DX支援の提案プロセスにおいて、脱炭素・環境負荷低減の具体例としてクライアントに共有した。</li><li>IT技術の活用が、地方の深刻な課題である「人手不足の解消」というSDGs目標の達成にどう寄与するか、実務を通じた啓発活動を継続的に行った。</li></ul>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。